

## アジア政経学会 2013年度 第8回理事会 議事録

1. 日時 2013年12月21日(土) 15:00~17:00
2. 会場 立教大学(池袋キャンパス)12号館2階会議室
3. 理事・監事総数 26名
4. 出席者 理事 18名(磯崎、大橋、金子、梶谷、川島、小嶋、澤田、清水、高橋、高原、竹中、田村、永井、中溝、平岩、松田、山田、渡邊)  
監事 1名(佐藤)
5. 総出席者 19名
6. 議長 竹中理事長

### 7. 議事

(ア) 1500に竹中千春理事長が議長席に着き、開会を宣言、総務担当・川島真理事から、本日の出席者19名(理事18名、監事1名)、欠席者7名のため、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、川島氏、小嶋氏の二名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2013年10月12日)の理事会議事録の確認をおこなった。

#### ◆ 議案1 法人関連業務について [竹中・川島]

川島理事より12月20日をもって法人登録業務が一応完了した旨、報告された。他方、東京法務局より、(1)評議員の登録、(2)中溝理事の就任に関して、幾つかの問題が指摘されたことを踏まえ、爾後、川島理事を中心にこれに対応することが決定された。

#### ◆ 議案2 会費納入状況および7条退会 [小嶋]

小嶋理事より会費未納者に関する報告が行われ、7条退会対象者に関しては7名全員を退会とすることが決定された。また、特定年度未納会員のうち、塩谷会員に関しては、2014年3月31日までに返答がない場合には、退会者とすることが決定された。

#### ◆ 議案3 東日本大会について [山田]

山田理事より2013年度東日本大会の大会報告が行われた。具体的には、予算が826円超過したこと、共通論題の論文を『アジア研究』に掲載すべく、平川幸子会員を中心に対処していることが報告された。これに対し、竹中理事長より、山田理事を始めとする早稲田大学の大会運営に謝辞が述べられた。

#### ◆ 議案4 西日本大会について [永井]

永井理事より、2013年度西日本大会の大会報告が行われた。具体的には、(1) 非会員に対する謝金/宿泊費を充当するため 36,374 円の赤字が計上されたこと、(2) 大会出席者数が 80 名から 90 名に達したこと、(3) テッサー・モリス・スズキ先生の講演原稿及び朴会員と木宮会員のコメントの『アジア研究』掲載に関する提案、(4) 「企画分科会 2：保健医療人材のアジア域内移動：ASEAN 送出諸国の最新動向」の『アジア研究』掲載に関する提案、などが報告された。これに対して、竹中理事長からは西日本大会開催に対する永井理事を始めとする大阪市大の協力を謝辞が述べられた上、赤字分に関しては学会の予備費から拠出することが決定された。また、永井理事による(3)(4)の提案もいずれも同意され、爾後、山本理事と永井理事でこれに対応するよう、要請があった。

◆ 議案 5 2014 年度の大会について

[加茂]

川島理事より、2014 年度の全国大会については、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスで開催予定であり、加茂理事を中心に準備が進められている旨、報告された。次いで高橋理事から、(1) 開催校としては慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス所属の東南アジア研究者による発表を実施したいと考えていること、(2) 山田辰雄会員から、「蒋介石と現代中国」という題名で、可能であれば中国・台湾からの研究者も招聘した歴史研究のセッションを開催したいとの提案があったこと、(3) 加茂理事から湘南藤沢キャンパスの利便性の悪さに鑑みて、懇親会を昼間に開催することも提案されていること、が報告された。これに対して竹中理事長は、懇親会に関しては夜の開催が望ましいと指摘した上で、具体的な企画については、高橋理事に一任することを決定した。

国際セッションについては、園田理事、平岩理事にも検討を要請しており、複数のセッションが開催される可能性があるため、園田理事を中心に十分相談するよう指示された。また国際シンポジウムについては、予算的に可能であれば、全ての企画を全国大会で行う必要はなく、日程と場所を改めて別途開催しても良いとの竹中理事長より提案された。さらに高原理事からは昨年招待されたドイツの学会との交流も検討してほしい旨、提案があった。

西日本大会については、未だ開催校が決まっていないことに鑑み、自由論題や分科会のテーマも含めて、各理事の協力を仰ぎたい旨、竹中理事長より要請された。

◆ 議案 6 『アジア研究』の編集状況について

[山本・松田]

中溝理事より、今期の編集委員会・書評委員会の編制及び方針に関する説明が行われた。編集委員会については、経済関係、朝鮮半島関係の委員が手薄であるため、爾後補充することも検討していることが報告された。また編集委員会は副委員長を 2 名置き、加茂理事には通常の投稿論文の編集を、中溝理事は企画特集の担当とすることも報告された。

竹中理事長からは、これまでの経緯を踏まえ、中西印刷との契約を今一度確認し内容を明瞭化することが必要な時期となっていると提案された。同提案に対して金子理事から、

2004年に中西印刷と契約書を締結したことに鑑み、その内容を確認し、それを踏まえて改めて契約内容の話し合いを行うべきだと提案された。そこで、倉田理事長補佐に一連の関係文書の調査を要請し、川島理事、澤田理事もそれをサポートすることとなった。

また竹中理事長からは、編集・発刊方針としては、実態に合わせて編集ロードマップを考えるべきだと提案された。これに対して、高原理事からは、投稿論文に関しては、取り扱いをしっかりと考えるべきであり、折角投稿してもそれが掲載されないというのは、会員の投稿意欲に対してよくない効果を及ぼすものと指摘された。大橋理事からは、編集ロードマップに従うと、学会賞が出ない年が出てくるが、その対応はどのようにするのかと質問がされたが、竹中理事長はその期間は学会賞がない可能性もあると回答した。

渡邊理事からは、編集方針にある写真や絵画の使用許諾に関して、その難しさが指摘された。これに対し、竹中理事長は、この問題に対して、今後慎重に対応すべきであるとの指摘がなされた。

松田理事からは、現在9本の書評依頼が来ている。次号、次次号では書評を掲載する予定はないものの、来夏から随時掲載する旨、報告された。

#### ◆ 議題7 J-STAGEについて

[丸川]

川島理事より、本件に関しては丸川理事が意欲的に対応している旨、説明された。その上で、印刷会社とのあいだで調整すべき案件が生じている旨、説明された。この点に関して、竹中理事長は、丸川理事と相談の上、対応したいと述べた。磯崎理事からは、『アジア研究』が発刊後、直ちにJ-STAGEに掲載することは、出版社の利益にも鑑みれば、困難ではないかと指摘された。これに対して、竹中理事長は、本会では執筆者・会員の利益を最優先し、なるべく即時公開で行く方向を追求したいとの方針を示した。

#### ◆ 議題8 ニュースレターの編集状況について

[清水]

清水より、ニュースレターの編集が順調に進んでいる旨、説明があった。

#### ◆ 議案9 ホームページの更新について

[加茂・梶谷]

梶谷理事より、学会HPの英語化に関して、直ちに着手するのは困難であるが、入会案内について海外からの問い合わせがたびたび生じているため、可及的速やかに対応すべきであると指摘された。特に、(1)日本語が出来ない会員希望者にどのように対応するか、(2)海外在住の日本人にどのように対応するのかが今後の重要な課題となると説明された。これに対して、竹中理事長から、海外在住者に対して日本国内の居住者と同様のサービスを提供することは困難であること、また高原理事から海外居住者に『アジア研究』などの雑誌を送付することは困難であり、これまでは特別な対応はしていないことを原則としており、それでも入りたいという人は受け入れていた、との経緯について説明があった。

竹中理事長は、学会HPに英語の説明資料を用意すべきだと指摘した。川島理事は、海外

在住の会員に詳細な説明を用意すべきであり、また、日本語が出来ない会員に対しては、その不利益に関する説明を行うべきだと指摘した。梶谷理事はこうした指摘に同意した。

竹中理事長は、日本語が出来ない会員に対して、何のサービスも提供しないのはよくないため、可能な限り、対応を検討すべきだと指摘し、本件については、梶谷、加茂の両理事に加え、小嶋、川島両理事に含めた対応チームの設置を検討するよう要請した。

梶谷理事からは、今後どのような方針で対応すべきなのか、何を目標とするのか、その辺のラインについては理事会で検討して頂きたいとの要請があった。特に会員によるメッセージボードを活用した英語での情報発信の可能性が提案された。これに対して、田村理事、高原理事からは、一定程度、学会の方でメッセージボードを管理する必要性が指摘された。また澤田理事は、英語で発信する情報を精査するのは現在の体制では困難であることが指摘された。こうした指摘に基づき、梶谷理事は、メッセージボードの利用に関するルール作りが重要だと述べ、竹中理事長は奨学金やジョブマーケットの紹介も視野に入れつつ、梶谷理事の構想を前進させて欲しいと要請した。

◆ 議題 10 定例研究会について

[敵・磯崎]

磯崎理事より、本日 13:00 から定例研究会が開催され、山城奈菜恵、伊藤未帆両会員の報告が行われたと説明された。また次回は 2 月 8 日（土）、東大駒場キャンパスで開催予定であると説明された。竹中理事長は、今回の定例研究会には若手研究者が積極的に参加しており、本定例研究会を通じて、プレゼンテーションや論文の書き方など、色々とフィードバックになるものが多いと指摘した。

◆ 議題 11 国際交流

[園田]

平岩理事より、園田理事、加茂理事を中心に次年度の国際交流がかなり進んでいるとの説明が行われた。平岩理事に対して竹中理事長は、朝鮮半島問題についての国際シンポジウムの開催を要請した。これに対して、平岩理事は、本件は現代韓国朝鮮学会との共催も検討すべきだと提案し、竹中理事長も同意した。

◆ 議題 12 入・退会者について

[川島]

川島理事より、現在入会申請が 5 名、退会希望が 2 名（1 名はご逝去）あったと報告され、全会一致で承認された。

◆ その他

川島理事より、（1）学会の文書は倉田理事長補佐が管理していること、（2）会員絡みで要請・トラブルが多々あるので（例：アジア政経学会の会員を理由として、保育証明を発行して欲しいという要望あり）、学会として対応を検討すべきであること、が提起された。

平成 25 年 12 月 21 日

一般財団法人アジア政経学会

議長 藤原

藤原 千春

印

議事録署名人 (理事) ~~小嶋~~ 小嶋

小嶋 華津子

印

議事録署名人 (理事) 川島

川島 真

印

議事録署名人 (監事) 佐藤

佐藤 幸人

印